

# 株主の皆様へ

第75期 中間報告書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

証券コード 3946

株式会社トーモク

# TOMOKU

Packaging Innovation



## 株主の皆様へ



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第75期第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、政府による経済対策や日銀の金融緩和を背景に輸出環境や企業収益の改善がみられ、個人消費が底堅く推移するなかで出遅れていた設備投資も持ち直しつつあります。しかしながら欧州債務問題、新興国経済の動向、米国経済の回復ペースや財政問題などの今後の展開によっては日本経済に大きな影響を与えるものと考えられます。

その中で当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は687億90百万円（前年同期比7.0%増）、経常利益は25億円（前年同期比155.6%増）、四半期純利益は13億16百万円（前年同期比324.9%増）となりました。

セグメントの業績は3～4ページに記載の通りでございます。

通期では連結売上高1,530億円、連結経常利益85億円、連結当期純利益45億円を見込んでおります。

以上ご報告の通りでございますが、中間配当金につきましては1株につき3円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

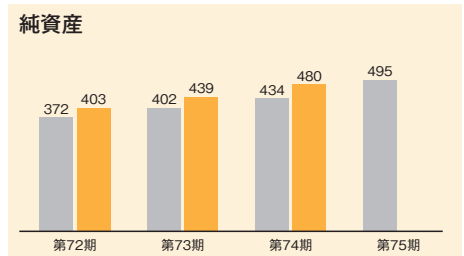
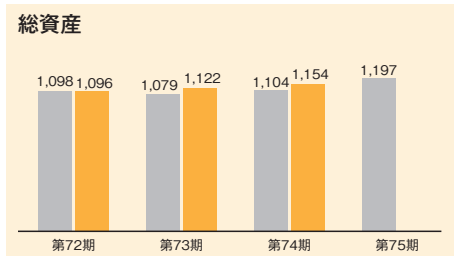
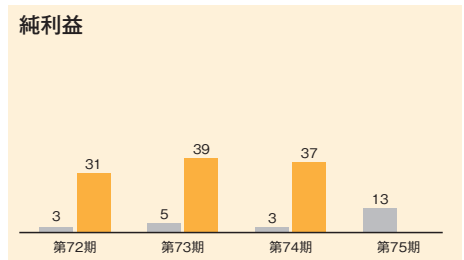
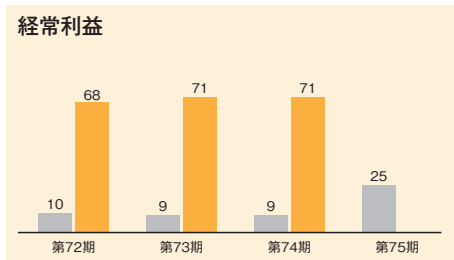
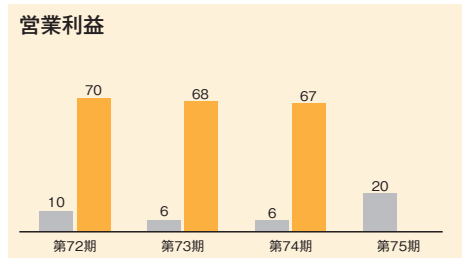
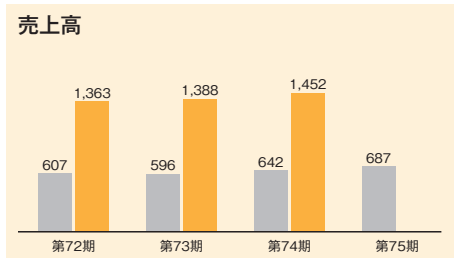
平成25年12月

代表取締役社長 齋藤 英男

# 財務ハイライト

- 連結売上高 **687億90百万円** (前年同期比 7.0%増)
- 連結経常利益 **25億00百万円** (前年同期比 155.6%増)
- 連結四半期純利益 **13億16百万円** (前年同期比 324.9%増)

■ 第2四半期 ■ 通期  
(単位: 億円)



## セグメント別 業績

### 段ボール

売上高**416**億円（前年同期比**3.0%**増）

段ボールの需要は、加工食品、青果物などの食品向けや通販・宅配向けが堅調に推移し、前年を上回りました。

当社グループの段ボール生産量の伸び率は、前年を上回る水準で推移しました。当社の主力工場である館林工場では物流体制の整備を行って加工の月産2,000万㎡体制を敷くとともに労働環境に配慮した防暑対策を中心とした工場の環境整備を行い、岩槻工場ではエントランス等周辺環境の大幅な整備を実施しました。大一コンテナーでは工場棟等を刷新するとともに新たに高性能の印刷機を導入し、生産能力の増強と品質面の強化をはかりました。

段ボールの売上高は416億48百万円（前年同期比3.0%増）となり、営業利益は39億69百万円（前年同期比16.9%増）となりました。



新装なった館林工場

## 住 宅

売上高**159**億円（前年同期比**23.8%**増）

住宅市場においては、住宅の安全・安心、非常時のエネルギー確保に対する関心が高いことや雇用や所得環境の改善などに加え金利や地価の先高観や消費増税を見越した住宅投資への意欲の高まりにより新設住宅着工戸数も堅調に推移しました。

スウェーデンハウスでは木製サッシ3層ガラス窓に代表される高い断熱性と気密性による省エネ性能をアピールし、紹介受注など販売体制の強化に努めた結果、販売棟数は前年同期比23.5%伸ばしました。売上高は159億75百万円（前年同期比23.8%増）、また売上が下半期に集中し上半期はコストが先行するという住宅の特性もあり、営業損失は24億30百万円（前年同期は営業損失30億69百万円）となりました。



泉パーク

## 運輸倉庫

売上高**111**億円（前年同期比**2.1%**増）

運輸倉庫においては、夏場の猛暑により東日本エリアの飲料部門を中心として取扱量が増加し、売上高は111億66百万円（前年同期比2.1%増）となりました。不採算事業の見直し等の経営の効率化をはかった結果、営業利益は7億94百万円（前年同期比12.1%増）となりました。



トウサンサービス羽生センター

## 四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

区 分	前第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日現在)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成25年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成25年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産	52,208	55,443	54,611
固定資産	58,248	64,294	60,852
有形固定資産	46,690	50,162	48,039
無形固定資産	498	425	454
投資その他の資産	11,060	13,706	12,358
<b>資産合計</b>	<b>110,457</b>	<b>119,738</b>	<b>115,464</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	37,677	40,283	41,492
固定負債	29,340	29,888	25,954
<b>負債合計</b>	<b>67,017</b>	<b>70,171</b>	<b>67,446</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	42,346	46,549	45,515
資本金	13,669	13,669	13,669
資本剰余金	11,138	11,138	11,138
利益剰余金	18,204	22,412	21,376
自己株式	△ 666	△ 671	△ 669
その他の包括利益累計額	△ 297	1,279	941
少数株主持分	1,391	1,737	1,560
<b>純資産合計</b>	<b>43,440</b>	<b>49,566</b>	<b>48,017</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>110,457</b>	<b>119,738</b>	<b>115,464</b>

### Point 1 資産の部

総資産は、前連結会計年度末比4,274百万円増加し119,738百万円となりました。

流動資産では、現金及び預金の4,010百万円減少がありましたが、たな卸資産の2,794百万円増加、受取手形及び売掛金の808百万円増加、流動資産のその他の1,271百万円増加などで、前連結会計年度末比832百万円増加の55,443百万円となりました。

固定資産では、有形固定資産の2,122百万円増加などで、前連結会計年度末比3,441百万円増加の64,294百万円となりました。

### Point 2 負債の部

負債の部は、前連結会計年度末比2,724百万円増加し70,171百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金1,316百万円の減少がありましたが、長期借入金の3,783百万円増加などによるものです。

### Point 3 純資産の部

純資産の部は前連結会計年度末比1,549百万円増加し49,566百万円となりました。これは主に利益剰余金の1,036百万円増加、その他有価証券評価差額金の273百万円の増加などによるものです。

## 四半期連結損益計算書 (要旨)

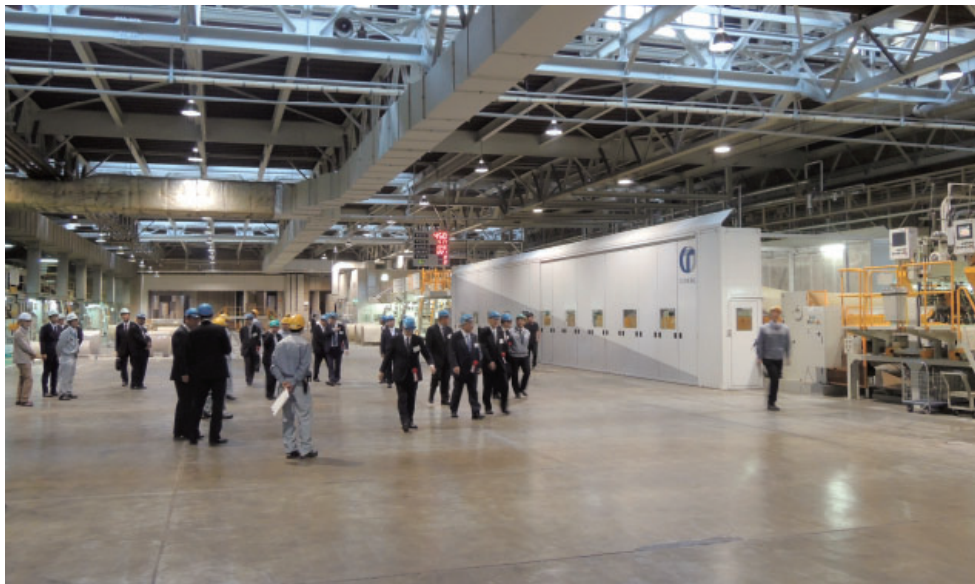
(単位：百万円)

区 分	前第2四半期 連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	前連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
売上高	64,263	68,790	145,277
売上原価	52,469	54,981	116,274
売上総利益	11,794	13,809	29,002
販売費及び一般管理費	11,113	11,731	22,247
<b>営業利益</b>	<b>681</b>	<b>2,077</b>	<b>6,755</b>
営業外収益	649	695	993
営業外費用	352	272	583
<b>経常利益</b>	<b>978</b>	<b>2,500</b>	<b>7,166</b>
特別利益	22	133	110
特別損失	283	130	310
<b>税金等調整前四半期(当期)純利益</b>	<b>716</b>	<b>2,503</b>	<b>6,966</b>
法人税、住民税及び事業税	1,457	1,681	3,067
法人税等調整額	△ 942	△ 696	△ 109
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	201	1,518	4,008
少数株主利益	△ 108	202	246
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>309</b>	<b>1,316</b>	<b>3,762</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

区 分	前第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,421	△ 420
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,401	△ 5,676
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,965	2,062
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 19	22
現金及び現金同等物の増減額	△ 7,808	△ 4,010
現金及び現金同等物の期首残高	14,653	15,382
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,844	11,371



館林工場 世界最速コルゲートマシン「TM450」

## 世界一のマシンが育てる世界一の技術

館林工場で稼働している世界最速を誇るオンリーワンマシン「TM450」。

貼合速度毎分 450mという高速連続運転に対して難易度の高かったこの機械の開発に、トモクがあえて挑んだ理由のひとつは、

“人のさらなる成長のため”

世界一の性能を最大限に引き出すには、オペレーターにも世界一の技術が必要です。

「TM450」の開発に要した膨大なコストと時間は、品質向上のためだけではなく、

“人のさらなる成長のため”の投資でもありました。

人材育成と機械開発に終わりはありません。

トモクはさらなる成長を目指して、挑戦を続けてまいります。



## さらなる品質向上のために

商品を包む段ボールは、いわば「商品の顔」です。印刷品質への高まる要求に対応するために導入したのが「画像検査装置」です。「良品の印刷画像」をマスターデータとして登録し、高速で流れる全品と照らし合わせて微妙な差異を画像解析します。全品の印刷検査が可能な体制を構築しました。



厚木工場 画像検査装置

## トーモクならではの研修施設



錬匠館

トーモクには製造技術やメンテナンス技術などを鍛錬する人材育成のための施設「錬匠館<sup>れんしょうかん</sup>」があります。その名前の通り「匠」になるための技と心と感性を育てあげる研修です。講師はトーモクのベテラン技術者です。研修施設もまたオリジナルにこだわるのはトーモクイズムを伝承するためです。

# 主要な営業所および工場 (平成25年9月30日現在)

当 社	本 社	東京都千代田区	
	工 場	館林 (群馬県館林市) 厚木 (神奈川県厚木市) 大阪 (大阪府門真市) 九州 (佐賀県基山町) 浜松 (静岡県浜松市) 新潟 (新潟県聖籠町) 仙台 (宮城県岩沼市) トモプレスト (群馬県明和町)	岩槻 (埼玉県さいたま市) 札幌 (北海道小樽市) 小牧 (愛知県小牧市) 清水 (静岡県静岡市) 青森 (青森県青森市) 山形 (山形県山形市) 千葉紙器 (千葉県長南町)
スウェーデンハウス 株式会社	本 社	東京都世田谷区	
	支 社	北海道 (北海道札幌市) 北関東 (埼玉県さいたま市) 東京 (東京都新宿区) 名古屋 (愛知県名古屋市) 九州 (福岡県福岡市)	東北 (宮城県仙台市) 千葉 (千葉県船橋市) 横浜 (神奈川県横浜市) 関西 (大阪府大阪市)
	住 宅 展 示 場	北海道地区 (11カ所) 関東地区 (36カ所) 関西地区 (7カ所)	東北地区 (2カ所) 名古屋地区 (8カ所) 九州地区 (6カ所)
トーンサービス 株式会社	本 社	埼玉県さいたま市	
	事 業 所	北海道 (北海道小樽市) 北関東第一 (群馬県明和町) 北関東第三 (群馬県千代田町) 南関東 (神奈川県厚木市) 西日本 (大阪府吹田市)	共同物流 (埼玉県羽生市) 北関東第二 (群馬県千代田町) 北関東第四 (埼玉県さいたま市) 中部 (岐阜県瑞穂市)
株式会社ホクヨー	本 社	東京都千代田区	
北洋交易株式会社	本 社	北海道札幌市	
	支 店	神奈川県川崎市	
株式会社 トーンパッケージ	本 社	埼玉県加須市	
	工 場	本社 (埼玉県加須市)	大利根 (埼玉県加須市)
サウランドボックス カンパニー	本社・工場	米国カリフォルニア州L.A.地区	
トームクヒュースAB	本社・工場	スウェーデン国インシヨン	

## 会社の概要 (平成25年9月30日現在)

### 会社の概要

社 名 株式会社トーモク  
TOMOKU CO.,LTD.

本 社 〒100-0005  
東京都千代田区丸の内二丁目2番2号  
電 話 03-3213-6811  
F A X 03-3213-2825

創 業 昭和24年(1949年)5月27日

資 本 金 136億6,987万円

### 役員

代表取締役社長 斎藤 英男

専務取締役 岡田 正人

常務取締役 内野 貢

常務取締役 中橋 光男

常務取締役 廣瀬 正二

取締役 栗原 由行

取締役 新井 孝

取締役 村井 秀壽

取締役 岡本 良夫

常勤監査役 羽石 晴夫

監査役 澤田 達樹

監査役(社外) 田中 秀一

監査役(社外) 坂上 誠

上席執行役員 南 義久

上席執行役員 神戸 渉

執行役員 奈良 隆

執行役員 山下 省一

執行役員 宮坂 朋純

執行役員 吉能 久記

執行役員 井上 光男

執行役員 深澤 輝隆

執行役員 山口 禎人

## 株式の状況 (平成25年9月30日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数 290,098,000株

発行済株式の総数 96,707,842株

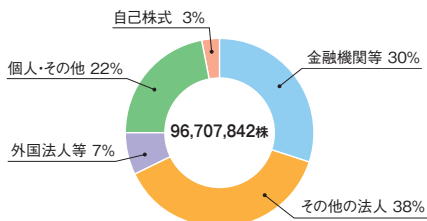
株 主 数 6,342名

### 大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
ホッカンホールディングス株式会社	8,522	9.11
三菱商事株式会社	8,435	9.02
丸紅株式会社	4,618	4.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,979	4.25
株式会社みずほ銀行	3,748	4.00
日本製紙株式会社	3,595	3.84
特種東海製紙株式会社	2,700	2.88
トーモク共栄会	2,542	2.71
日本生命保険相互会社	2,182	2.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,074	2.21

(注) 1. 当社は、自己株式3,228千株を保有しておりますが、上記から除いております。  
2. 出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日 その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。
配当金支払株主確定日	期末配当金につきましては3月31日、中間配当金の支払いを行う場合は9月30日といたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
公告掲載新聞	日本経済新聞

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いきませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式会社 トーモク TOMOKU CO., LTD.

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-2-2 丸の内三井ビル 4 階

TEL.03-3213-6811 FAX.03-3213-2825

<http://www.tomoku.co.jp/>